記者発表資料

平成２７年１２月２２日
磐 城 国 道 事 務 所

いわき中央IC入口交差点
交差点改良により渋滞長及び交通事故が減少しました。

平成26年11月5日に一般国道49号 いわき中央IC入口交差点で左折レーン設置及び右折レーンを延伸し、1年が経過しました。

今般、完成1年後の整備効果をとりまとめましたのでお知らせ致します。

＜主な整備効果＞

・朝夕の渋滞が著しい いわき中央ＩＣ入口交差点の下り線の
朝の最大渋滞長が８２０ｍ→２５０ｍに減少。
夕方の最大渋滞長が９７０ｍ→０ｍに解消。

・平均旅行速度*が上昇し円滑性が向上。
*平均旅行速度とは、この交差点付近を走る車両の走行速度の平均です

・バスドライバーも効果を実感。

・交通事故の減少。

※発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、
いわき市ふるさと発信課

問い合わせ先		
国土交通省	東北地方整備局	磐城国道事務所
	副所長	佐藤　実（内線　205）
	保全対策官	蛭田　健次（内線　402）
TEL　0246－23－2211（代表）		

一般国道49号　いわき中央IC入口交差点

『左折レーン』を設置、『右折レーン』を延伸
～１年後の交通状況～

（平成26年11月5日完成）

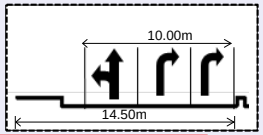
➡ **渋滞長及び交通事故が減少しました**





整備前

左折と直進レーンが混合



渋滞に起因する追突事故も多発



渋滞発生

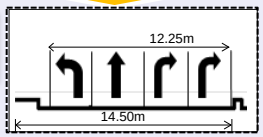


H25.3.7　17時台　撮影

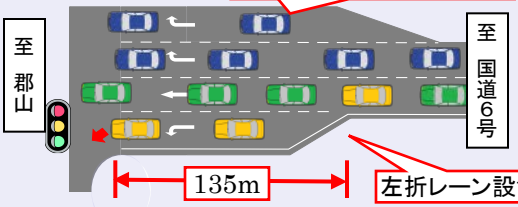
現道路用地内で車線を再配分

整備後

左折レーンを設置



右折レーン延伸(30m延伸)



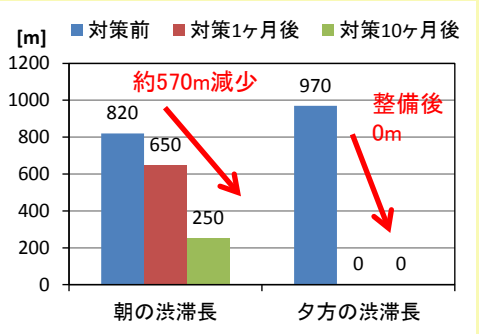


H27.8.25　17時台　撮影

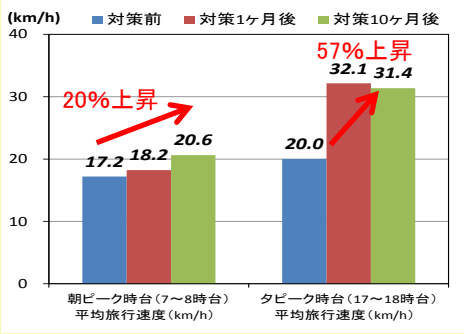
●朝夕ともに渋滞長が減少（朝：820m→250m、夕：970m→0m）

●平均旅行速度が上昇し、円滑性が向上

（対策前(タピーク時)：20km/h→対策後：31km/h）



※対策前：H23.11.18、対策1ヶ月後：H26.11.20、対策10ヶ月後：H27.8.25の渋滞長調査より（7時，19時台）「磐城国道調べ」



※対策前：H25.8、対策1ヶ月後：H26.12、対策10ヶ月後：H27.8の民間プローブデータより（いわき中央IC入口交差点～上好間忽滑交差点間の平均速度）

●対策１年後も効果が持続しているとバスドライバーが回答

対策直後	かなりスムーズになり、好間町内の渋滞が短くなった。
対策１年後	・対策実施前後で相当渋滞は減少し対策に大変満足している。 ・信号待ちしないときもあり、待つ場合でも1回の信号で通過できる。

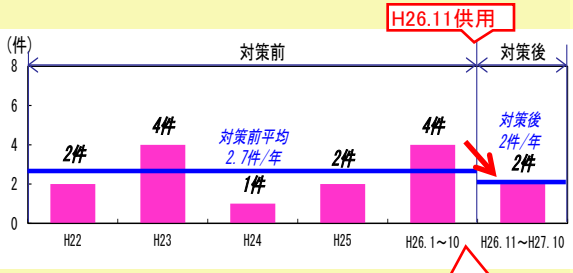


※対策直後　：H26バスドライバーヒアリング調査
対策１年後：H27バスドライバーヒアリング調査
「磐城国道調べ」

●交通事故件数が減少し、安全性が向上

死傷事故件数：
対策前：2.7件/年→対策後：2件/年

【死傷事故件数（下り線流入部）の経年変化】



対策前平均：H22.1月～H26.10月
対策後平均：H26.11月～H27.10月

対策前後で死傷事故件数は26%減少

※H22～25交通事故・道路統合データベース
H26～27県警事故原票データ